



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
 コード番号 4761 URL <https://www.kcs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 神原 忠明
 (氏名) 高岸 浩司
 TEL 078-391-6571

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,438	2.1	342	11.4	423	4.3	372	38.3
2020年3月期第3四半期	16,102	14.2	386		443		269	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 547百万円 (64.6%) 2020年3月期第3四半期 332百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	33.22	
2020年3月期第3四半期	24.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,803	16,099	77.4
2020年3月期	21,546	15,686	72.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 16,099百万円 2020年3月期 15,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		6.00		6.00	12.00
2021年3月期		6.00			
2021年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	2.8	720	7.6	800	5.4	650	37.2	58.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、[添付資料]4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]9ページ「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	11,200,000 株	2020年3月期	11,200,000 株
2021年3月期3Q	735 株	2020年3月期	735 株
2021年3月期3Q	11,199,265 株	2020年3月期3Q	11,199,297 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、[添付資料]4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社及び連結子会社(以下、「当企業集団」という。)の当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、公共関連部門において消費税率引上げや改元対応案件等、前年同四半期の反動減があったことに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなど、総じて厳しい環境にありましたが、金融関連部門においてSMB Cグループ向けのシステム構築が大きく増加したことから、売上高は、前年同四半期比336百万円(2.1%)増の16,438百万円となりました。

損益面につきましては、増収効果や、費用支出の削減等の販売費及び一般管理費の抑制による増収要因があった一方で、前年同四半期の反動や新型コロナウイルス感染症対策に伴う要員稼働率低下等の影響により売上総利益率が悪化したことによる売上総利益の減少影響が大きく、営業利益は342百万円と前年同四半期比44百万円(11.4%)の減収、経常利益も423百万円と前年同四半期比19百万円(4.3%)の減収となりました。また、第2四半期に特別利益として投資有価証券売却益105百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、372百万円と前年同四半期比103百万円(38.3%)の増収となりました。

連結のセグメント別売上高は、次のとおりです。

なお、2020年4月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より産業関連部門の一部を公共関連部門として集計するよう変更しており、対前年同四半期の増減及び増減率については、前年同四半期の数値を変更後の区分方法に組み替えた数値に基づき作成しております。

① 金融関連部門

SMB Cグループ向けのシステム構築案件が増加したことから、売上高は5,024百万円と前年同四半期比541百万円(12.1%)の増収となりました。

② 公共関連部門

大手ベンダー経由のシステム構築が増加した一方で、前年同四半期の消費税率引上げや改元対応等の案件に伴う需要増の反動により自治体向けシステム構築及びシステム運用管理の減少影響が大きく、売上高は3,721百万円と前年同四半期比226百万円(5.7%)の減収となりました。

③ 産業関連部門

システム構築において、前年同四半期の大規模案件の反動減があったものの、大手ベンダー経由の案件やERPソリューション案件が堅調に推移したことに加え、クラウド案件やBPO案件増加によりシステム運用管理が増加したこと、大規模案件の獲得によりシステム機器販売が増加したこと等から、売上高は7,692百万円と前年同四半期比21百万円(0.3%)の増収となりました。

なお、連結の品目別セグメント別売上高及びセグメント別営業利益は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	金融関連部門	公共関連部門	産業関連部門	全社共通	合 計
システム構築	3,779 (20.2%)	1,562 (△4.8%)	3,684 (△0.2%)	—	9,026 (6.5%)
システム運用管理	1,054 (△5.2%)	1,160 (△6.7%)	1,366 (3.5%)	—	3,581 (△2.6%)
その他の情報サービス	115 (14.4%)	517 (△1.5%)	885 (△8.1%)	—	1,519 (△4.5%)
情報サービス売上高	4,949 (13.6%)	3,240 (△5.0%)	5,937 (△0.6%)	—	14,127 (2.8%)
商品売上高 (システム機器販売)	74 (△40.8%)	481 (△10.6%)	1,755 (3.5%)	—	2,311 (△2.0%)
売上高合計	5,024 (12.1%)	3,721 (△5.7%)	7,692 (0.3%)	—	16,438 (2.1%)
営業利益	906 (20.9%)	300 (△44.5%)	796 (△1.0%)	△1,661 (—)	342 (△11.4%)

(注) () 内の%表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

<売上高構成比率>	30.6% 《+2.7%》	22.6% 《△1.9%》	46.8% 《△0.8%》	—	100.0% 《—》
-----------	------------------	------------------	------------------	---	---------------

(注) 《 》 内の%表示は、対前年同四半期売上構成比率との増減を示しております。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比742百万円減少して20,803百万円に、一方純資産は前連結会計年度末比412百万円増加して16,099百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比4.6%上昇して77.4%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきまして、売上高は、SMB Cグループの情報化投資が増加基調であることを背景として金融関連部門が好調であることに加え、公共・産業関連部門においても大手ベンダー経由の案件を中心に堅調に推移していることを踏まえ、上方修正しております。

損益面につきましても、新型コロナウイルス感染症対策等にかかる費用増加を見込むものの、増収効果に加え、一部実施を先送りしていた費用支出の見送りをはじめ、総じて費用支出を削減することにより販売費及び一般管理費が抑制されることから、営業利益、経常利益を上方修正しております。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、第4四半期連結会計期間に予定している所有不動産の売却及び投資有価証券の売却による特別利益の計上を見込むことから、前回発表予想を上方修正しております。

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,000	640	700	550	49.11
今回修正予想 (B)	24,500	720	800	650	58.03
増減額 (B - A)	1,500	80	100	100	
増減率 (%)	6.5	12.5	14.3	18.2	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	23,833	778	845	473	42.30

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,314	7,617
受取手形及び売掛金	5,650	4,134
商品	201	339
仕掛品	519	1,514
貯蔵品	6	6
その他	416	446
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,107	14,056
固定資産		
有形固定資産	3,250	3,441
無形固定資産	747	630
投資その他の資産		
投資有価証券	1,050	1,308
退職給付に係る資産	655	709
その他	770	691
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	2,441	2,675
固定資産合計	6,439	6,746
資産合計	21,546	20,803
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,814	1,550
未払法人税等	371	170
賞与引当金	945	420
受注損失引当金	36	23
その他	1,529	1,423
流動負債合計	4,698	3,588
固定負債		
役員退職慰労引当金	146	150
退職給付に係る負債	105	121
その他	910	844
固定負債合計	1,161	1,115
負債合計	5,860	4,704

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	11,075	11,313
自己株式	△0	△0
株主資本合計	15,358	15,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	444
退職給付に係る調整累計額	79	58
その他の包括利益累計額合計	327	503
純資産合計	15,686	16,099
負債純資産合計	21,546	20,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	16,102	16,438
売上原価	12,646	13,155
売上総利益	3,455	3,283
販売費及び一般管理費	3,069	2,940
営業利益	386	342
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	33
不動産賃貸料	46	20
助成金収入	10	34
雑収入	26	29
営業外収益合計	121	118
営業外費用		
支払利息	14	16
固定資産除売却損	31	8
不動産賃貸費用	18	4
雑損失	0	6
営業外費用合計	64	36
経常利益	443	423
特別利益		
投資有価証券売却益	20	105
移転補償金	33	—
特別利益合計	53	105
特別損失		
投資有価証券評価損	80	—
特別損失合計	80	—
税金等調整前四半期純利益	416	528
法人税等	147	156
四半期純利益	269	372
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	372

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	269	372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	196
退職給付に係る調整額	△5	△21
その他の包括利益合計	63	175
四半期包括利益	332	547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332	547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定)

当企業集団は、受注損失引当金の会計上の見積りを行うにあたり、今後2021年3月期の一定期間にわたり新型コロナウイルス感染症の影響が継続すると仮定しておりますが、個々の開発作業の見積原価に与える影響は、開発原価の大部分を人件費が占めており変動要素が少ないことから、現状では軽微であると判断しております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。